



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 白銅株式会社

上場取引所 東

コード番号 7637 URL <http://www.hakudo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 角田 浩司

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 谷口 彰洋

TEL 03-6212-2811

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	10,023	24.5	629	62.4	650	64.1	454	66.0
29年3月期第1四半期	8,052	△2.7	387	△26.8	396	△28.0	273	△26.9

(注)包括利益 30年3月期第1四半期 494百万円 (366.1%) 29年3月期第1四半期 106百万円 (△73.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	40.06	—
29年3月期第1四半期	24.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	29,864	14,631	49.0
29年3月期	28,604	14,800	51.7

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 14,631百万円 29年3月期 14,800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	58.50	58.50
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	56.00	56.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,000	11.4	1,080	40.2	1,120	43.0	760	40.5	67.01
通期	36,900	6.6	2,240	12.8	2,310	13.1	1,570	11.7	138.42

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	11,343,300 株	29年3月期	11,343,300 株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	1,247 株	29年3月期	1,181 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	11,342,061 株	29年3月期1Q	11,342,265 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績結果

(a) 売上高

売上高は、前年同四半期比で24.5%増加し、100億2千3百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外景気や良好な雇用・所得環境、個人消費の回復を背景に企業の景況感は幅広い業種で改善し、業績見通しや設備投資に底堅さが見られました。一方、新興国経済の減速、欧米の政策運営、株式相場の見通し不安等、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社業績に影響が大きい半導体製造装置業界は、AIやIoTに関連する需要の拡大により好調に推移しております。液晶製造装置業界も、4K映像やスマートフォンの受注の広がりにより好調に推移しており、新技術である有機ELにおいてもその需要が拡大し、液晶製造装置業界同様に有機EL関連の製造装置の需要も伸長しています。

このような状況のなか当社グループは、国内事業の「ダントツの品質・ダントツのスピード・ダントツのサービス・納得の価格」による同業他社との差別化、海外事業の拡大、新規事業の構築を柱に企業価値の向上を目指しております。

国内事業の同業他社との差別化といたしましては、工場の設備投資や自動化の推進、24時間365日お見積り・ご注文が可能なWEBサイト「白銅ネットサービス」の更なる利便性の向上、高精度材料をラインナップした「ハイスペックシリーズ」、欧州の厳しい環境規制に適合した「エコシリーズ」、航空・宇宙規格に適合した「航空宇宙規格材料シリーズ」など需要拡大が見込める特徴ある材料を中心に品揃えを増やしたことにより、標準在庫点数を前年期初の4,300品目サイズから5,000品目サイズへ拡充するなど、顧客満足の更なる向上に努めております。

海外事業の拡大については、平成29年2月にベトナム国ホーチミン市内に駐在員事務所を開設し、東南アジア地域の市場調査および情報収集を強化しております。また、上海白銅精密材料有限公司においても「白銅ネットサービス」の中国版である「上海白銅ネットサービス」の利用推進に取り組んでおります。

新規事業の構築では、平成29年4月に2台目の3Dプリンターを導入し、アルミ造形サービスを開始し金属製品の受託製造の範囲の拡大を行うなど、製造体制や技術対応力を強化しております。

これらの結果、標準在庫品・特注品ともに販売重量は増加し、売上高が前年同四半期比で増加となりました。

(b) 営業利益

営業利益は、前年同四半期比62.4%増加し、6億2千9百万円となりました。

営業利益の増加要因は主に原材料市況の好転によるもので、当第1四半期連結累計期間の商品在庫に係わる相場差益は1億4千2百万円（前年同四半期は1億円の相場差損）ありました。

人件費および運賃の増加、製造キャパシティのアップや新規事業の拡大にともなう設備投資により、減価償却費等の経費は増加しましたが、売上高が伸長したことにより原材料市況の影響額を除く営業利益は、前年同四半期比でほぼ横ばいとなりました。

(c) 経常利益

経常利益は、営業利益の増加により前年同四半期比64.1%増加し、6億5千万円となりました。

以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億5千4百万円（前年同四半期比66.0%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりとなります。

当第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）

セグメント	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
日本	9,622百万円	609百万円	631百万円	435百万円
中国	318百万円	16百万円	15百万円	15百万円
その他	81百万円	4百万円	4百万円	4百万円

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、298億6千4百万円と、対前連結会計年度末比で4.4%、12億6千万円増加しました。

流動資産は、224億7千1百万円と、対前連結会計年度末比で3.3%、7億1千2百万円増加しました。増加額は、受取手形及び売掛金7億2千9百万円、商品及び製品4億6千7百万円他、合計12億7千4百万円です。減少額は、現金及び預金5億5千5百万円他、合計5億6千1百万円です。

固定資産は、73億9千3百万円と、対前連結会計年度末比で8.0%、5億4千7百万円増加しました。増加額は、有形固定資産5億2千7百万円、無形固定資産3百万円、投資その他の資産1千6百万円です。

流動負債合計は、152億1百万円と、対前連結会計年度末比で10.4%、14億2千9百万円増加しました。増加額は、電子記録債務10億4千6百万円、支払手形及び買掛金2億5千6百万円、設備支払手形3億8千4百万円、預り金1億8千8百万円他、合計19億3千5百万円です。減少額は、未払法人税等2億6千8百万円、賞与引当金1億4千6百万円、役員賞与引当金5千3百万円他、合計5億6百万円です。

純資産は、146億3千1百万円と、対前連結会計年度末比で1.1%、1億6千8百万円減少しました。減少額は、利益剰余金2億9百万円他、合計2億9百万円、増加額は、その他有価証券評価差額金1千6百万円、子会社への出資金と子会社の累積損失を円換算した時の差異の為替換算調整勘定2千4百万円、合計4千万円です。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の51.7%から49.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。特に、利益は原材料市況の変動により影響を受けることとなります。現時点において、平成29年5月11日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

原材料市況は、アルミニウム地金（日本経済新聞月別平均値）がトン当たり前連結会計年度末の27万1千円から6月末は26万6千円に下落し、電気鋼建値は前連結会計年度末の69万円から変動はなく、ステンレス鋼板（鉄鋼新聞月別中心値）は前連結会計年度末の33万円から6月末は34万円に上昇しました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,820,275	4,264,790
受取手形及び売掛金	11,259,171	11,988,962
電子記録債権	397,808	453,036
商品及び製品	4,935,778	5,403,106
原材料及び貯蔵品	16,969	18,764
繰延税金資産	244,636	244,177
その他	99,264	112,733
貸倒引当金	△15,678	△14,533
流動資産合計	21,758,225	22,471,037
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,734,569	7,261,415
減価償却累計額	△5,314,950	△5,349,869
建物及び構築物(純額)	1,419,619	1,911,545
機械装置及び運搬具	5,409,765	5,535,441
減価償却累計額	△2,904,931	△3,000,733
機械装置及び運搬具(純額)	2,504,834	2,534,707
土地	1,899,876	1,899,876
その他	500,364	518,949
減価償却累計額	△347,549	△360,568
その他(純額)	152,815	158,380
有形固定資産合計	5,977,144	6,504,510
無形固定資産		
投資その他の資産	219,306	222,967
投資有価証券	383,646	409,169
繰延税金資産	26,276	19,125
退職給付に係る資産	68,924	69,644
その他	170,858	168,382
投資その他の資産合計	649,705	666,321
固定資産合計	6,846,156	7,393,799
資産合計	28,604,381	29,864,837

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,112,772	9,368,918
電子記録債務	2,907,350	3,954,114
未払費用	650,573	651,639
未払法人税等	485,665	217,422
賞与引当金	312,136	165,781
役員賞与引当金	73,000	19,248
その他	230,829	824,264
流動負債合計	13,772,328	15,201,388
固定負債		
長期預り保証金	15,150	15,150
その他	16,206	16,300
固定負債合計	31,356	31,450
負債合計	13,803,684	15,232,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	621,397	621,397
利益剰余金	12,999,925	12,790,763
自己株式	△1,271	△1,376
株主資本合計	14,620,051	14,410,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96,342	112,546
為替換算調整勘定	84,302	108,666
その他の包括利益累計額合計	180,644	221,212
非支配株主持分	0	0
純資産合計	14,800,697	14,631,998
負債純資産合計	28,604,381	29,864,837

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	8,052,326	10,023,134
売上原価	6,719,014	8,290,733
売上総利益	1,333,312	1,732,401
販売費及び一般管理費	945,528	1,102,519
営業利益	387,784	629,881
営業外収益		
受取利息	1,722	1,552
受取配当金	5,369	4,685
不動産賃貸料	18,157	18,200
その他	1,220	3,948
営業外収益合計	26,469	28,386
営業外費用		
不動産賃貸費用	3,299	2,695
支払手数料	215	124
為替差損	13,301	3,912
その他	628	552
営業外費用合計	17,445	7,284
経常利益	396,807	650,983
税金等調整前四半期純利益	396,807	650,983
法人税等	123,155	196,631
四半期純利益	273,652	454,351
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	273,653	454,351

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	273,652	454,351
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,952	16,204
為替換算調整勘定	△134,511	24,363
その他の包括利益合計	△167,464	40,568
四半期包括利益	106,188	494,919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,188	494,919
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法により計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。